

SAP S/4 HANA 連結会計 (Group Reporting)



SAPの連結ソリューションと言えば長い歴史がありますが、S/4HANAにGroup Reporting (GR) がSAPからリリースする最新の連結ソリューションとして提供されています。

しかしながら、GRでどこまで実現できるのかが不透明で、その技術者も枯渇している状況にあります。また、同じSAPユーザーとして意見交換をしたい方も多いことと存じます。

そこで、GRが提供するベストプラクティスを共同で学ぶ機会を提供するワークショップを開催することと致しました。ご関心のある企業からのご参加を心よりお待ちしております。

協力会社 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社T4C
三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
SAPジャパン株式会社
事務局 クラウド&パッケージ株式会社

連結会計プロセスの革新

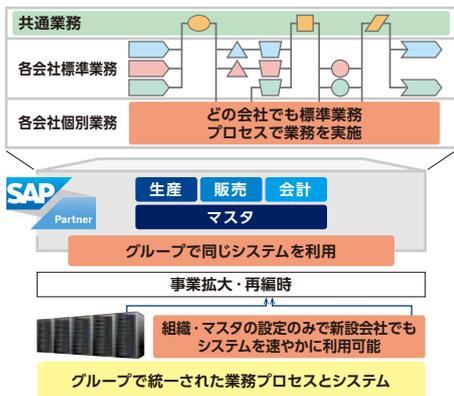


こんな願望
ありませんか？



- **グループで統一する業務プロセスとシステム**
- **グループ全体の会計情報の一元管理**
- **グループを跨った情報を様々な切り口で分析**
- **明細(請求書)レベルの内部取引照合の月中前倒し**

グループで統一する
業務プロセスと
システム



グループ全体の
会計情報の
一元管理

SAP S / 4HANA 総勘定元帳(グループ統合会計明細)

総勘定元帳明細に事前に定義されている300以上の項目が利用可能

会社	元帳	勘定科目	事業	部門	製品	取引相手	地域
受注番号	数量	契約コード	資産番号	プロジェクト	発注番号

国内外における複数法人管理
【多言語、多通貨、IFRS(複数基準帳簿)対応】

法人をまたぐ事業横串での損益管理
(セグメント管理)

グループ標準勘定科目による業務オペレーション



クラウド&パッケージ株式会社

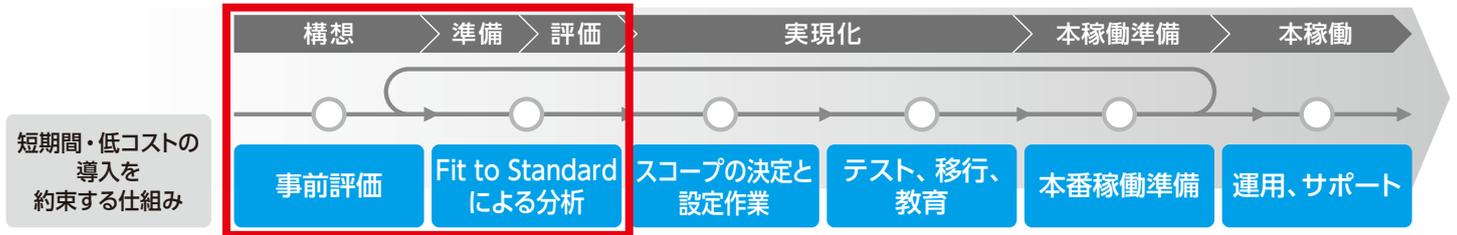
東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5階
03(6715)0456 担当:宮原 miyahara@candp.biz

**SAP S/4HANA連結会計の機能を
検証するワークショップを次ページで紹介**

共同ワークショップの位置づけ

当ワークショップは、SAP社が提供するActivate方法論での「構想」「準備」「評価」フェーズに相当するもので、**一般的な要件定義フェーズまでに近いもの**です。

しかしながら、**一般的な要件定義とは異なり、個社の要件を把握してそれを実現するのではなく、いわゆるFit to Standardのアプローチにより、SAP社が保有する機能をどのように活用するのかを探求するもの**であり、したがって、共同で実施することができ、他社との情報交換を可能ならしめ、該当フェーズのコスト負担を下げることをねらいとするものです。



共同ワークショップで検証する「連結会計のプロセスフロー」



共同ワークショップのスケジュール、成果物 3か月、1回半日 週1回開催

月	N月	N+1月	N+2月
内容	準備・基本設定	データ入力-個別会計との統合	キャッシュ・フロー
	マスタメンテナンス	外貨換算	レポート
	データ入力-財務諸表	内部取引消去-債権債務・内部取引	まとめ・報告
	データ入力-仕訳	内部取引消去-投資と資本	個社要件への対応
		組替・その他	次フェーズ以降の計画書

ワークショップの最終月(N+2月)には、「**個社要件への対応**」の作業を設け次フェーズ以降、本稼働までの計画書を個社別に提示させていただきます。

共同ワークショップの実施要項

- 3社～5社で開催します。
- 1社あたり3名まで参加可能です。

参加費用や開催時期などにつきましては、ホームページからお問い合わせ下さい

